
メコン地域の大学間ネットワーク

チェンマイ大学・サバナケット大学

メコン地域とは

アジア開発銀行の主導の下、1990年代はじめから、タイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー、雲南省、広西チワン族自治区の5か国2地域を対象に地域協力が進められ「大メコン圏」と呼ぶ。

総人口は、3億3600万人（日本の約2.6倍）

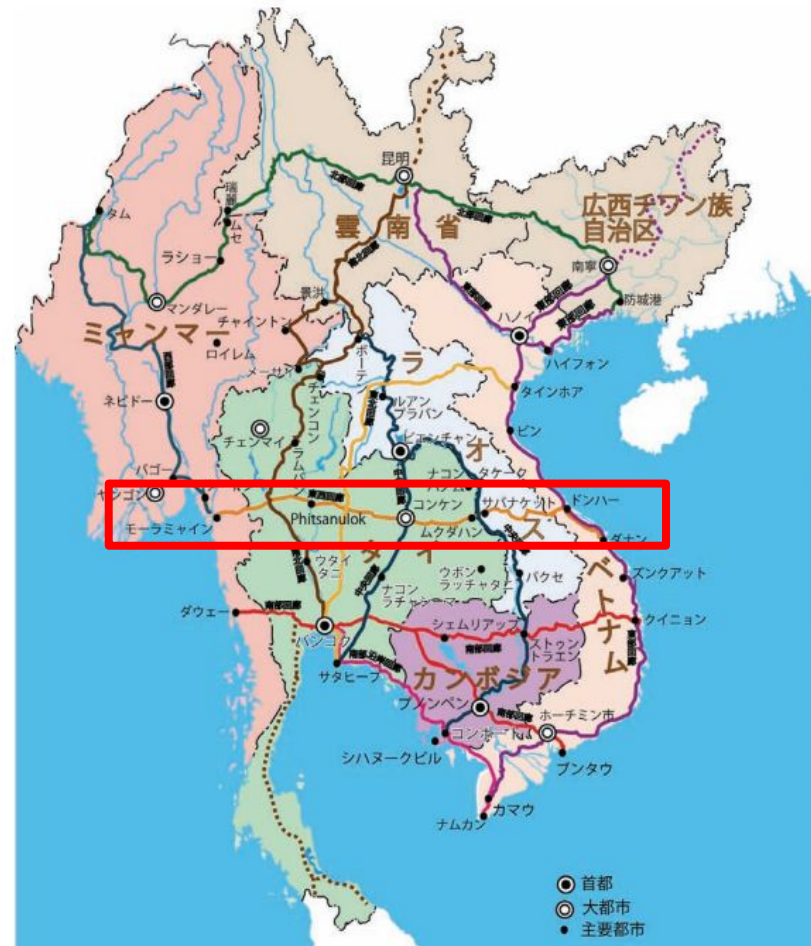
面積は、約251万km²（日本の約6.9倍）

国・地域名	人口 (百万)	面積 (万km ²)	GDP (10億米ドル)	1人当たり GDP(ドル)
タイ	67.9	366.0	395.3	5,620
広西チワン族自治区	46.8	23.6	206.1	4419.4
ベトナム	91.7	155.6	193.5	1,980
雲南省	46.6	39.4	163.0	3509.1
ミャンマー	53.9	55.3	64.8	1,280
カンボジア	46.6	14.1	18.05	1,070
ラオス	6.8	9.2	12.3	1,730

データ参照: 世界銀行のOpen Data <http://data.worldbank.org/>
中国統計年鑑(2012)

一体化が進む メコン圏

- ・アジア開発銀行が進めているGMS協力。
- ・広域輸送インフラ整備による連結性が生まれ、メコン圏を面として捉えていく必要性がある。
- ・「東西回廊」「南部経済回廊」「南北経済回廊」が概ね出来上がっている。
- ・隣国との往来が従来と比べ、貿易・投資・観光等の発展が見込める。
- ・この広域輸送インフラの整備によって、メコン全体の底上げになる。

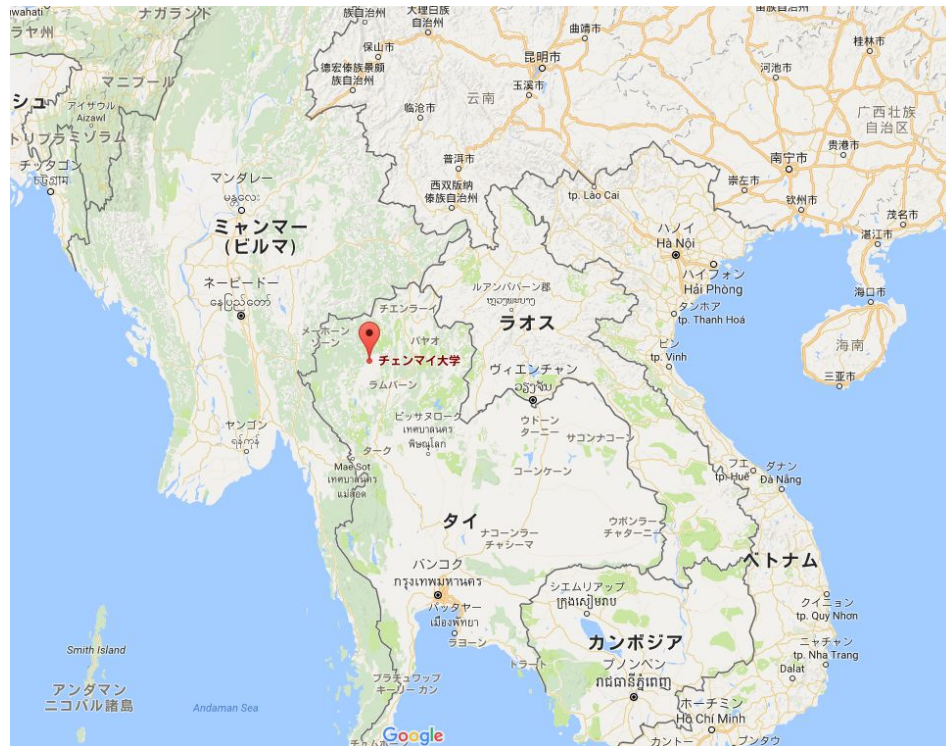


チェンマイ大学

メコン地域における高等教育システムが急速に拡大をしているが、担う人材の不足や質の低さ大きな問題となっている。

メコン地域で先を歩んでいるタイの大学が積極的に連携・交流を通して協力及び支援をしている。

チェンマイ大学はメコン地域とのネットワークを構築し、中核的な役割を担っている。



チェンマイ大学

1964年にタイで初めての地方大学として創設。創設以来、職業につながる知識の習得、高度な学問の収容、国民文化の保護を掲げてきた。

北部唯一の国立総合大学であり、高い評価を得ている。地元志向の強い学生が集まる傾向があり、北部出身の優秀な学生が集まる。

2008年に、日本政府から草の根文化無性資金を得て、人文学部HB6棟に日本研究センターを設置。

2013年から日本研究周囲過程を開設し、高度職業人・日本研究者の育成をしている。



北部タイ日本語日本研究大学 コンソーシアム

設立: 2009年7月17日

目的・北部タイにおける、大学、日本研究期間との文化・芸術等に着いての発展と相互交流。

現在は、9大学1機関で構成。

1. 盤谷日本人商工会議所より支援を頂き、加盟大学・機関の学生に奨学金を支給。
2. 現地日経企業及び日本政府機関との共同企画
日系企業訪問、スピーチコンテスト、JENESYS Program 絆プロジェクト
3. 個別企画
日本式運動会、カルタ大会、日本研究連続講義、日本研究論集作成・配布事業

北部タイ日本語日本研究大学コンソーシアムホームページ <http://northconsortiumjp.blogspot.jp/> (2016年8月26日最終確認)



チェンマイ大学とラオス国立大学との 共同修士学位プログラム

2008年10月から、チェンマイ大学のイニシアチブによりスタート。

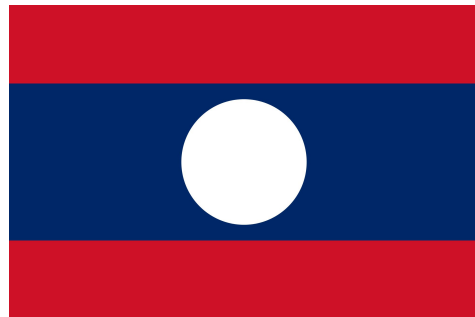
メコン流域における経済開発に伴う政治的・経済的变化に呼応して立案されたプログラム。

地域の最貧国であるラオスの高等教育の強化と人材育成を強く意識している。

プログラムの使用言語は英語。

初めの1学期をチェンマイ大学、残りの2学期をラオス国立大学で学ぶ。

参照:<http://www.tkfd.or.jp/leadership/sylff/a00024> (2016年8月26日最終確認)



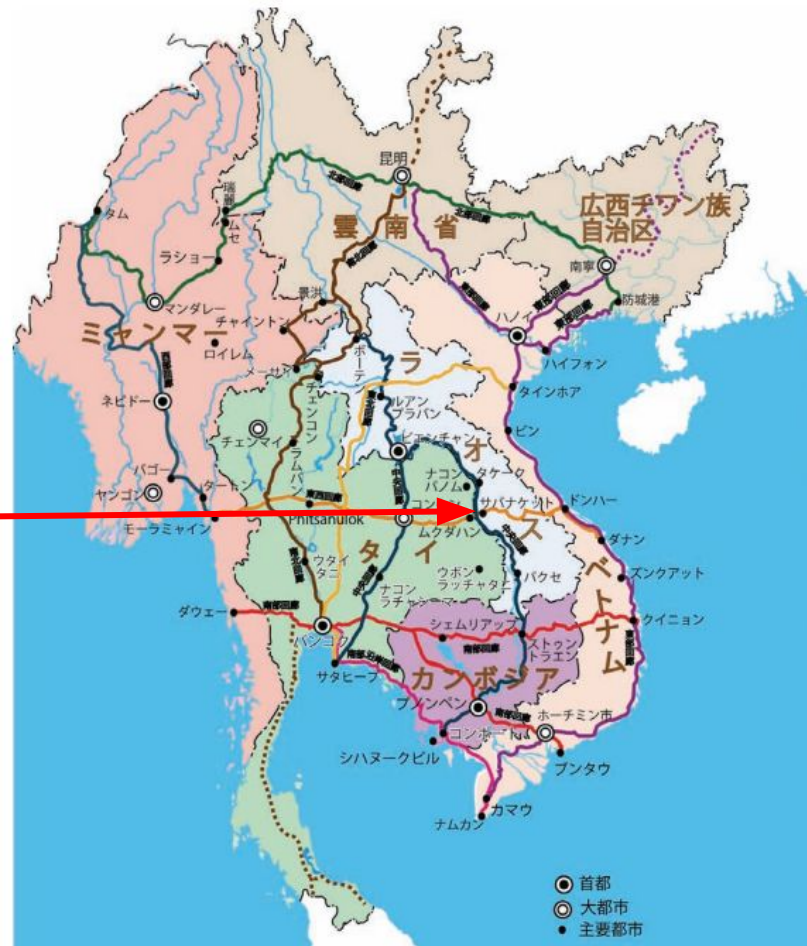
大メコン地域大学 コンソーシアム

大メコン地域大学コンソーシアム
メコン地域に在する24の大学で構成

サバナケット県は、日本が協力した第二
メコン架橋及び国道9号線が通っており、
ベトナムとラオスをつなぐ、「東西経済回
廊」が通っている。

サバナケット県には、日本のマスタープラ
ンによって設立されたサバン・セノ経済特
区がある。

北陸環日本海経済交流促進協議会・アジア経済研究所 編(2014年3月)
http://www.ide.go.jp/japanese/Publish/Download/Report/2013/2013_B406.html
「ASEAN経済の動向と北陸企業の適応戦略」第5章「ASEAN域内の物流ネットワーク-GMS経済回廊の現状と展望」石田正美
http://www.ide.go.jp/japanese/Publish/Download/Report/2013/pdf/B406_ch5.pdf p145

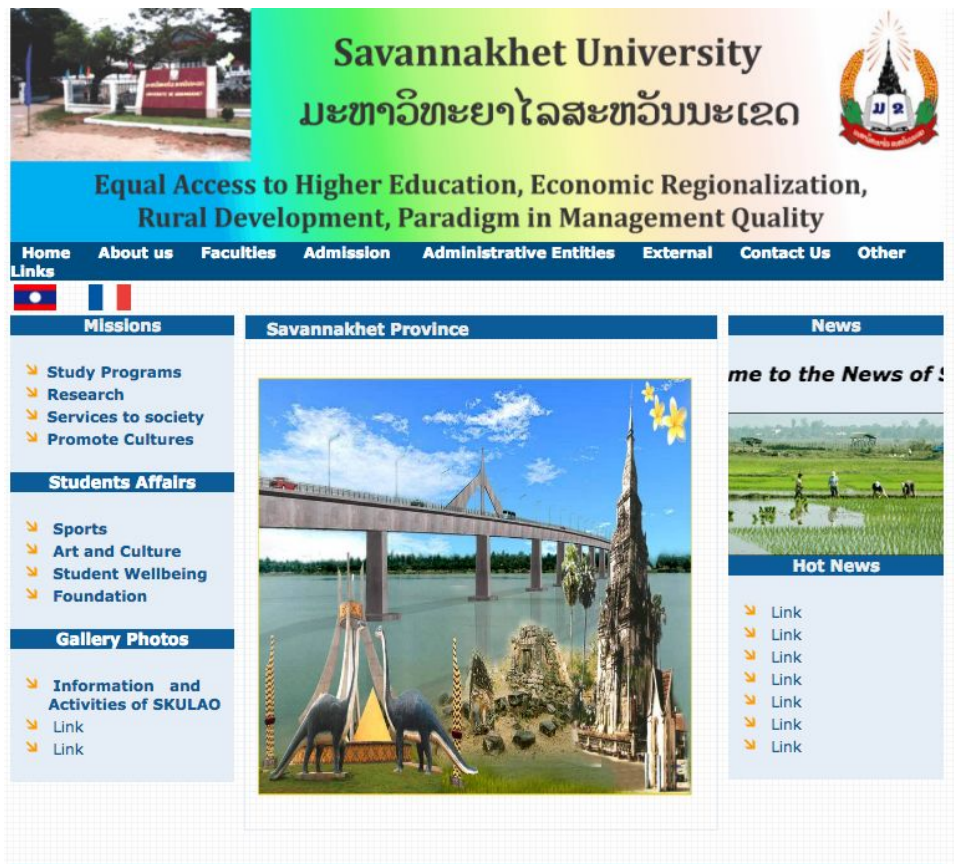


サバナケット大学

2009年10月にラオスで4番目に設立された相互大学。

東西経済回廊のラオス側の起点であり、サバナケット大学を通じて実用的な知識や技術を育成し、経済発展に資する人材を輩出していく方向。

参照: サバナケット大学のホームページ <http://skulao.org/> (2016年8月26日最終確認)



Savannakhet University
ມະຫາວິທະຍາໄລສະຫວັນນະເຂດ

Equal Access to Higher Education, Economic Regionalization,
Rural Development, Paradigm in Management Quality

Home Links About us Faculties Admission Administrative Entities External Contact Us Other

Missions

- Study Programs
- Research
- Services to society
- Promote Cultures

Students Affairs

- Sports
- Art and Culture
- Student Wellbeing
- Foundation

Gallery Photos

- Information and Activities of SKULAO
- Link
- Link

Savannakhet Province

News

me to the News of !

Hot News

- Link
- Link
- Link
- Link
- Link
- Link
- Link

アジアでは階層的な高等教育のネットワークが構築され、
それぞれが補完し合いながら高等教育システムの質的な向上を目指している。

アジアでは、UNESCO等の国際機関とASEANやSEAMEOとの連携が深化している。

チェンマイ大学のように域内の有力大学が、メコン地域における高等教育機関との連携
フレームワークを構築している。また、域外との連携の広がりを見せている。

参考文献

黒田一雄 編著(2013)「アジアの高等教育ガバナンス」アジア地域藤堂講座 専門研究シリーズ第巻、勁草書房、p200~228

東京財団 奨学事業レポート「チェンマイ大学によるメコン川流域広域経済圏に着目した教育政策：ラオス国立大学との共同修士学位プログラム」
<http://www.tkfd.or.jp/leadership/sylff/a00024> (2016年8月26日最終確認)

大メコン地域大学コンソーシアム<http://www.gmstec.org/> (2016年8月26日最終確認)

Asian Development Bank (ADB), Implementing the Greater Mekong Subregion Human Resource Development Strategic Framework and Action Plan (Phase2). Manila 2013.
<http://www.adb.org/sites/default/files/project-document/79600/46071-001-tar.pdf> (2016年8月26日最終確認)

Asian Development Bank (ADB), Strategic Framework and Action Plan for Human Resource Development in the Greater Mekong Subregion (2013-2017). Manila. 2013
<http://www.adb.org/sites/default/files/institutional-document/33966/files/gms-sfap-hrd-2013-2017.pdf> (2016年8月26日最終確認)